



しいば 議会だより

第79号

平成27年8月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL (0982) 67-3209
村内無料電話7-67-0091



6月定例会……………(2)
一般質問……………(3～4)
総括質疑……………(5～6)

常任委員会等調査……………(7)
議会の動き……………(8)

平成27年6月定例会

平成27年度
一般会計補正予算は、**1億7千352万3千円**を減額

総額 56億7千353万2千円

平成27年度 特別会計補正予算額

会計名称	今回補正額(千円)	補正後(千円)
国民健康保険特別会計	2,495	529,411
簡易水道事業特別会計	704	55,090
電気事業特別会計	△1,283	77,254
介護保険特別会計	6,858	371,856
後期高齢者医療特別会計	0	88,109
ケーブルネットワーク事業特別会計	△21	71,207

6月定例会が10日開会

報告 1件・平成25年度椎葉村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

同意 1件・椎葉村副村長の選任につき同意を求めることについて

黒木保隆氏が再任

議案11件・一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例についてほか

平成27年5月29日臨時会

議案1件・椎葉村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

国会要望・政務調査

6月17日から19日にかけて、国への陳情活動及び政務調査を行った。要望は、国交省へ「国道の改良整備促進」について、農水省・林野庁へ「有害鳥獣による被害への対策」「森林・林業・木材産業の振興対策」についての内容で陳情した。農水省・林野庁では、担当部長と直談ができ意味深い活動となった。政務調査は、日本初の世界農業遺産に認定された石川県輪島市の白米千枚田、富山県高岡市の国宝建造物、万葉の里に建つ巨大伽藍(総門、山門、仏殿、法堂を一直線に配列)である瑞龍寺を訪ね研修した。



村長に聞く! ~ 一般質問 ~



河口吉弘 議員

質問

高齢者や障がい者の安心・安全な暮らしのための施策推進について

問

3点について質問をし、村長の答弁を求めたいと思います。

1) 集落道の整備が困難な上椎葉地区については、高齢者の移動負担の軽減を図るために、村が里道、歩道の整備に取りかかっていくべきだと考えます。

早急に実態把握を行い、一日も早く関係住民の安心・安全な暮らしの実現を図っていくべきだと考えます。

2) 携帯電話不感地域に暮らす高齢者に対する生活不安の解消対策についてお尋ねいたします。

村全体が、携帯電話の利用が可能となるよう早急に対策を講じていただきたいと思えます。

3) 聴覚障がい者のコミュニケーションの方法として、携帯電話、メール使用料等を含めた利用料に対する助成制度を講じるとともに、聴覚障がい者や健常者との一層の意思疎通、障がい者やご家族の安心・安全な暮らしづくりに取り組むべきだと思いますが、村長の見解を求めます。

答 村長回答

主要な歩道については階段の補修、滑り止め対

策として、リブカラーの舗装、そして転落防止の柵及び手すりの整備は既に行っております。

現在、一部未整備部分がございますが、その部分についても用地の承諾を待っているという段階でございます。

歩道の現状を見据え、要件を満たし整備が必要と思われる案件については、最善策を講じてまいりたいと思っておりますので、ご理解をまたよろしく願いをいたします。

次に、携帯電話が不感地域に暮らす高齢者等に対する生活基盤に対する対策についてであります。

財木地区につきましては、採算性の観点から、事業実施に必要な通信事業者の参画がいただけなかったところではありますが、長年にわたる陳情活動がようやく実りまして、この度、株式会社NTTドコモの平成28年度における事業参画の内諾をいただいたところでございます。このため、来年度での事業実施に向けた取り組みを進めておりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

続きまして、3点目の質問にお答えをいたします。

聴覚障がい者の方々への社会参加を促し、交流を深め、安心して生活してもらうために現在、担当課において、対象となる方々個別に状況把握をしているところでありまして、どのようなサポートを必要とされているのか、またできるのかを検討して、できるだけ早い時期に施策を講じていきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。



椎葉信紘 議員

質問

村営バス運行対策について

問

交通アクセス、村営バス運行の問題であります。具体的には、現行で各公民館区の本路線定期運行に加えて、各集落に週1回の割合で運行がなされているわけですが、この運行回数を少なくともそれぞれ各1回の増便をして、週2回程度に運行ができないかということでもあります。

さらにもう1点は、地区の中心集落より離れているがために村営バスが現在運行されていない地域があるという実情であります。交通の不便さの上に経済的負担の大きさに憂いている実態であります。

この村営バスの運行計画については運行会社側との関係もあろうかと思えますが、目的としては、地域住民の日常生活に欠かせない交通手段にもなりますから、もう少し弾力的な運営をお願いしたいところで

す。ふるさとに残って祖先を守りながら、日々の暮らしに汗している高齢者の方々を思うときに、更には地域で住民みんなが支え合って生きていくために交通アクセスの利便性を充実させる取組が必要と考えますが、村長の率直なる所見をお尋ねします。

答 村長回答

村営バスの運行対策についてであります。

支援運行やダイヤの見直しでこれまで以上に幅広く利用者のカバーができる運行体制を整えるためにも、村営バス運営協議会や地域公共交通会議等で積極的に協議、検証も今後行いまして、適切に運用してまいりたいと思えます。

議員のご指摘のとおり、今後、高齢者や小中学生等の交通弱者にとっての環境が厳しくなることが予想されますことから、地域公共交通は地域住民の貴重な公共交通手段として充実させていく取り組みを積極的に検討してまいりたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしく願いをいたしまして答弁といたします。



岡村正司 議員

質問

空き家対策特別措置法に伴う対応について

問

危険な空き家の所有者に、市町村が撤去勧告・命令などを出すことができる空き家対策特別措置法が全面施行

されました。

本村ではこれまでも空き家対策について論議がなされ、既に現状については調査、情報を集約し、物件等をインターネットに登録・紹介し希望者に提供する移住・定住対策につながる利活用を取り組んでおられますが、今回施行された危険な空き家に対する特別措置法において、調査をしながらも、行政が簡単に解体等に踏み込めるものではないかとは思いますが、本村ではどのように対策計画を策定されるのか村長の見解をお聞きいたします。

答 村長回答

空き家対策特別措置法施行に伴う取り組みに

ついてお答えをいたします。

ご承知のとおり、本村におきましては、平成25年度より空き家調査を実施しておりますが、この調査につきましては生活用可能な空き家情報を収集したものでありまして、特措法を適用した修繕や撤去を伴うべき空き家の実態調査がまず必要であるというふう

に考えております。
また、対策に当たりましては、多大な財源が必要となるとお思いますので、これに対し国は、今後空き家等に関する施策の実施に要する費用に対する補助や地方交付税制度の拡充を行うとしているものの、現状では不透明でありますとともに、所有者負担を伴う行政代執行に踏み切った場合、貸し倒れのリスクや処分を公費に頼るモラルハザードが発生すること等による不公平感が生じるおそれがありますことから、慎重な取り組みが必要であると考えております。

したがいまして、今後、空き家等に関するデータベースの整備や特定空き家等に対する措置あるいは重点対象地区の設定等を含めた空き家対策計画の策定を図りつつ、安全・安心で美しい村づくりに努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



那須重美 議員

質問

高齢者や障がい者の安心・安全な暮らしのための施策推進について

問

椎葉小学校の下の橋が流失しまして、10年余りが経過しております。下福良地区の一部の車利用のないものにとっ

ては大変支障をきたしています。先ほど作業道の開設がなされたものの、河川敷が不通となっている状況です。

また先的那須橋の対岸におきましても、柵尾地区を初め上椎葉右岸地区におきましては大変不便な生活環境にあるようであります。尾田山中の入り口の橋についても災害時には尾田山中地区、下福良地区にとっては、緊急の際には那須橋回りの迂回路となると考えられます。そういった状況を加味しますと、小学校下の橋の架設は必要不可欠と思われませんが、村長の見解を伺いたいと思います。

答 村長回答

村道下福良線については、局部改良や安全施設、そして、法面防災等の工事を行い、通行車両の安全確保に努めてまいってきたところであります。全て解消したわけではありませんが、少しずつ危険箇所は減ってきているところでございます。

また、議員がおっしゃる老朽化の橋梁は国道265号接点の山中橋のことだと思いますが、この橋梁は延長26.8mで架設年度は昭和41年であり、もう既に49年経過している古い橋であります。しかし、本村では過去、橋梁長寿命化計画に基づき、村内橋梁の総点検を実施しています。構造的そして耐久性にも何ら問題がないという結果が出ております。

椎葉小学校対岸に渡る橋梁を架設することは下福良間柏原集落にとっては最短に上椎葉に通行できるアクセス道路となるのはご存じのとおりでございます。しかし、また作業道は開設後5年経過しないために用途変更ができないことと、5年経過後村道に編入できたとしても橋梁架設費に多額の費用がかかることなどの理由から、現時点では橋梁架設の計画はありません。地域の利便性からいうと必要だとは実感をいたしますが、費用面からなかなか実施に移行するのは現段階では困難だと感じているところでございます。ご理解をいただきたいと思ひます。



総括質疑



河口吉弘 議員

問 1)平成28年度中に現在の「平寿園」が移転新築されるが、移転後の有効活用について、在宅と施設の中間的施設、宿泊体験施設などの有効活用が考えられる。移転後は、直ちに利用できるよう、27年度、多くの村民の皆さんの意見も伺いながら、進めていただきたい。

2)定住促進と地区の活性化を図るために空き家の活用を検討すべき。「日本で最も美しい村連合」加盟が承認されたが、道路沿いなどの朽ち果てた家屋の解体撤去費用に対する支援制度や所有者に代わって解体撤去する制度づくりの検討を行うべき。

3)26年度に固定資産、特に家屋の全棟調査を評価も含めて行ったところであるが、この全棟調査の結果が、どれほど自主財源の確保に効果があったか。

4)県が発表した平成26年の7月1日現在の本村の給与実態調査で、本村のラスパイレス指数が90.5%で、諸塚村が90.6%、西米良村の91.4%にも及ばず県内17町村の中で最下位である。少なくとも17町村平均95.4%のレベルまで引き上げるべきではないか。

答 村長回答

今のところ具体的に何に使うというのは決めておりません。平寿園が移転するまでは、協議をしない審議会なり協議会を立ち上げて、考えていきたいと思っております。今、この児童館、保育所、幼稚園という状況の中で法改正がありました、子供のゼロ歳児から保育もいいというのがありますし、高齢者のための、利用

法もあるということで、きっちり協議をさせていただきますので、そのようにご理解をいただきたいと思っております。

それから、空き家の問題があります。みんな出て行って空き家になっている、そういう用地もある。さっきの雇用の問題でもありましたように、そこに将来的に住んでいただいとということもありますから、これは進めていかなければならない問題だと思っております。

行政が入って、橋渡しをして、利用可能かなということで、そういった形で一応スタートをさせていきながら、その空き家の問題についても、連動して協議をしていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

全棟調査をやりました。後に詳しく報告いたしますけれども、これも後ほどそういったものの資料を提出させていただきますから、よろしくお願いをしておきたいと思っております。

それから、ラスパイレスの問題非常に驚いています。ラスパイレス指数を上げたときにどれだけの財源があるのか調べてくれと、少し研究して、自分たちでそういう資料を提出してほしいと言っています。そういう原因がきっちりわかれば、その職員の資質向上にもつながりますから。資料が出てくると、労使交渉の中で、決定をしていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。



岡村正司 議員

問 職員の研修旅費についてお尋ねいたします。職員の研修に伴う予算が総務費の旅費で560万円と計上されておりますが、村長の先ほどの施政方針にもありましたが、行財政の効率的な運営について、自ら資質の能力向上に努める職員を育成していきたいとありました。

そうしたところの職員研修させることは、職員を育てることであり、そこにかかる費用は惜しむべきではないと基本的に考える中で、この職員の資質向上のための研修等、それをどういうふう計画されているのかということ、どのようにこの派遣者を決定するのかお尋ねいたします。

答 村長回答

職員の研修、これは重要な問題であります。やはり村民に対して、どういう仕事をしていくかと言うことは、常々職員にも話をさせていただいているところ

であります。

これに対する予算、研修費もかなり組んでおります。研修というのは必要でありますから、こういう研修に対する費用を惜しむなよということで話をさせていただいて、それにプラス、村独自の研修もかなり入れてます。

やはり、職員一人一人が勉強をしていただかないと、1つの事業をするときに、やはりアンテナを広げておかないと、国、県の補助等を見逃す場合があるんです。単独でやらざるを得ない。本来ならば、単独でやるものをどうにかして国、県の補助に食らいつくかというのを勉強してもらわなければ、やっぱりそれも1つの研修です。職員の研修は惜しまないで実施していますし、また病院の先生たちも特に若い先生方につきましては、いろんな研修会があります。学会がありますそれはぜひ出席をしてほしい。そういう形で本村は割といろんな研修にも出席をさせておりますし、村の独自の研修会も開いておりますから、今後ますます充実をさせていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいというふうに思っています。



椎葉信紘 議員

問 1)雇用の場の確保や、Uターン・Iターン者への定住・移住促進、更には若年層女性の人口減少に伴う子育て支援などの居住するにあたっての環境整備は？

2)村税収が伸び悩んでいる状況で、財源確保には、三大河川の環境保全に対する“恩恵措置”、あるいは懸念される地震、風水害等の危機管理に備えての九電ダム建設60年の見直し補修の働きかけなど、各関係機関、団体等への要望等も1つの方策として、検討の余地はあるものとする。

3)地方創生は、若い人を中心とした仕事の確保なり、また子供の出生率、さらにはそのことによって人口が定着をし、増加するのが狙い。本村の基幹産業である村産材の需要拡大を含めた林業の育成や、農畜産物への農林業の生産基盤の強化、さらには、観光産業とも提携できる「高千穂郷、椎葉山」の世界農業遺産が認定されれば、ふるさと納税を活用して、地産地消も絡めての一層の振興策が図られると期待をせるところ。ブロードバンドを活用しての、小規模のIT企業や個人起業家の方々へ、誘致を推進するなり、あるいは地方へ移住を希望する人たちに空き家を提供しての、不在森林所有の解消を図ること。現在設置している雇用対策室の現状は？

4)将来を担う児童、生徒の教育の充実に関わる問題ですが、椎葉ならではの教育で、村内の子供たちの郷土愛を持った感受性豊かな心を育てていただきたい。これからの児童、生徒の数が変動する少子化傾向に向けての早目の対処方は？

5)特老の「平寿園」について反省するならば、来訪者や通勤の事を考えると不便さを感じるので、これからの用地交渉等については、役場職員でなく、それなりの専門分野の方に依頼していくほうが総合的に見れば安価で、相応にみ合った事業の推進が図られるのではないかと思います。また、病院の問題についても、住民の間では、村外の病院を紹介する傾向があるようです。医師と患者の信頼関係が一番に大きいと思われまので、全国的に医師不足の中ではありますが、さらなる地域医療の充実と、また先を見越した場合においては、定着医の確保体制も検討すべき課題では？

6)村の最大イベントであります平家まつりです。30年目を機会に、中身を見つめ直しての創意工夫を図る時期ではないかと感じているところであります。

例えて申すならば、街頭での婦人会のひえつき節踊りに、オリジナルきなひえつき節踊りを村外の各種の団体なりに募集の依頼をして、参加してもらうとか、また平家の里にちなんだ歌謡ショーを加えるとか、あるいは町村合併等で難しい側面もあるかと思いますが、締結している旧姉妹町村の方々とか、さらには平家ゆかりの町村とのお互いの物産なり、また郷土芸能を通じた人的な交流などは、捉え方によっては活気が出てく

るのではないかと思います。何らかの策を検討すべきでは。

7)消防団を中心とした危機管理のさらなる意識の高揚と、そしてまたそこに住む人たちの安全・安心のための一層の防災体制の確立を図っていただきたい

8)健全な財政運営を行う上では、自主財源の増収を図りながら、足腰の強いうちに起債の返済なりの健全財政に努めることも肝要かと思うところであります。

本村も10年後には、財政がひっ迫されることも予想されますし、限られた財源の中ではありますが、住民の方々安心して委ねられる行財政運営に専念をしていただきたい。

答 村長回答

一番大事なことは農林業、いわゆる産業の、増収するため産業の改革と、今特に林業厳しい中で、村民の方々頑張ってくれているわけですから、他の町村に負けないほどの補助をつけております。

また、林業につきましては、中国木材等木質バイオマス等の会社ができており、これをいかにチャンスと捉えて、我々としてはうまく利用して生産を上げることが、産業につながっていくのではないかと考えております。

後継者不足、ほんとに大変な状況ではありますが、子供たちの出生率を伸ばすことも多産であることで出生祝金もよそと比べて、今日本の中でも一番努力もしています。

地方創生は、死にものぐるいで対応してきているつもりですけども、その努力にもかかわらず、悔しい思いをしますけれども、高齢化はしょうがないとしても、少子化が進んでいるという現状、どうにも打破できないというのが現状です。

空き家対策についても真剣に今後どうしていくべきなのかということで、調査が大体終わりました。これをどう生かしていくのかは、これからの問題として、これもまた皆さん方にはご相談をいたします。

このいわゆる世界農業遺産の問題につきましても、もし仮に認定されなかった場合も踏まえて、村民に対しても啓蒙しながら、自信を持って頑張っていたいただきたいという気持ちも持っているところでございます。

教育の問題が出ました、やはり大事なものは、いわゆる環境づくり、子供たちが安心・安全でほんとに学んでいけるような環境づくりを真剣に取り組んでまいりました。

今度の地方創生の中で、複式学級の解消をどうかしてあげたい。学校数が多いので統廃合の問題も少しは考えていかないと、そこに派遣をする先生たちもお金がかかってくる。しかし、お金がかかっても、そういった



デメリットの部分を少しでもなくして、親ごさんたちが子供を安心・安全のうちに生んで育てるという環境づくりを、取り組んでまいりたいと思います。

平家まつりは、今年30周年の記念事業になりますから、それについていろいろご提案をいただいております。また実行委員会を開催しながら、ご意見をいただきながら、皆さまが、お客さんが来て喜んでいただくようなイベントにしていきたい、そのことによってイベントの充実を図ってまいりたいと思います。

本村は非常備消防であります。そういった面で非常に、消防団の方々、これは施政方針の中でも申し上げましたように、本村の消防団の意味というのは、ほかの町村と比べると、本村の消防団のこの意識の高揚といえますか、それ非常に防災に関しては高いものを持っていらっしゃると思います。

そして、地域の方々も区長、三役員の方々一体となって地域での防災活動もやっていただいて、防災活動というよりも、災害に対する対応もできるようなシステムを構築しておりますし、だからこそ、消防団に対して1

00%十分なまではいきませんが、できるだけ消防団の要望に応えながら、大事にしていきたいと思っていますところでもあります。

財政の問題は、確かにまだまだ公債比率等については、高い部分もありますけれども、経常収支率等々の問題、財政基金の問題比べると、今の椎葉の財政状況というのは、行政改革も随分やって、17町村の中でもトップクラスの健全化財政ということで、自負をしているところがございます。

ふるさと納税の部分でなんか今までと変わった自主財源の確保を図っていくというのは大事でございます。産業の発展が一番だろうということで、こっちのほうにも真剣に力を入れていきたいというふうに思っております。



6月11日に椎茸生産者大会が宮崎で行われ、議会も参加しました。

椎茸生産者大会



7月7日に椎葉村において第55回入郷地域開発期成同盟会総会が開催された。椎葉村、諸塚村、美郷町から議員全員が参集され、43名の会員により、平成26年度の収支決算、平成27年度の収支予算をはじめ、5議案について承認された。又、県への要望事項についても検討され、全員一致で原案が承認された。

第55回入郷地域 開発期成同盟会総会



平成27年7月28日、日向市東郷町で東臼杵郡町村議会議員研修会が開かれ、広域森林組合参事を講師に「流域の林業の現状と課題」について学んだ。宮崎県のスギ生産量は全国1位で総生産量の14%を占めているが、住宅新築戸数の減少や空き家の増加により建築用材の需要減少が続く反面、木質バイオマス発電燃料用としての原木使用量が、都農町GBF、川南森林発電所でそれぞれ年間72,000トンの生材を、日向市中国木材は、25,000トンが必要とするという。まさに森林資源活用の転換点に入ったと言わねばならない。優良材生産という林業本来の役割を失うことなく、主伐・再造林のリサイクルを維持するため林業技術者の確保・育成を図り、森林整備の推進と経営に対する支援が不可欠であると痛感した。

耳川流域の林業の現状と課題について学ぶ

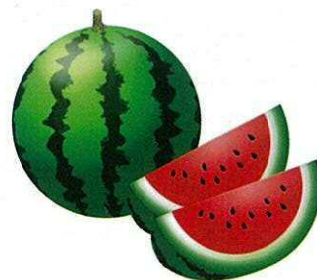
議会の動き

5月	1日	臨時議会	議場
	2日	大いちょうふれあいセンター落成式	松尾
	8日	東白杵郡町村議会議長会定例総会	日向市
	8日	区長・区長代理・組合長総会	開発センター
	10日	扇山山開き	松木
	11日	交通安全街頭パレード	平家本陣
		国道388号線期成同盟会監査	議長室
	13日	県町村議会議長会	宮崎市
	16日	椎葉村PTA連絡協議会総会	役場
	18日	世界農業遺産プレゼンテーション	高千穂町
	19日	日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会総会	日向市
		社会福祉法人椎葉村社会福祉協議会理事会	すこやか館
	20日	宮崎県町村議会議長会新各郡会長会	宮崎市
		椎葉・矢部・砥用線整備促進期成同盟会総会	美里町
	21日	入郷地域開発期成同盟会役員会	諸塚村
22日	東九州自動車道建設促進宮崎県央北部期成会総会・九州中央自動車道建設促進期成会総会	延岡市	
25日	入郷地区衛生組合総会	美郷町	
27日	椎葉村国民健康保険運営協議会	役場会議室	
25~28日	第40回全国町村議会議長・副議長研修会及び県選出国会議員へ要望活動	東京都	
26~27日	例月監査	監査委員室	
29日	臨時議会	議場	
30日	東九州自動車道開通祝賀のつどい	延岡市	
6月	3日	宮崎県町村議会議長会臨時総会	宮崎市
		議会運営委員会	委員会室
	4日	危険箇所調査	村内一円
	5日	平家まつり実行委員会	役場会議室
	6日	みやざき県民総合スポーツ祭	宮崎市
	10日	6月議会定例会	議場
	11日	宮崎県乾椎茸生産者大会	宮崎市
	14日	女性スポーツ祭	総合体育館
	17~19日	国会要望・政務調査	東京都
	20日	地域創生フォーラム	役場会議室
	22日	地域づくり懇談会(松尾・上椎葉)	松尾・上椎葉
		宮崎県町村議会議長会役員会	宮崎市
24~25日	例月監査	監査委員室	
27日	消防夏季大会	椎葉小	
29日	地域づくり懇談会(桐尾・大河内)	桐尾・大河内	
30日	地域づくり懇談会(尾八重・小崎)	尾八重・小崎	

7月	1日	地域づくり懇談会(尾向・不土野)	尾向・不土野
	2日	地域づくり懇談会(仲塔・鹿野遊)	仲塔・鹿野遊
	3日	国道388号(門川~椎葉間)整備促進期成同盟会総会	開発センター
	4日	延岡椎葉村人会	延岡市
	5日	体力づくりバレーボール大会	体育館
	6日	新議員研修	宮崎市
	7日	第55回入郷地域開発期成同盟会総会	役場会議室
	8日	日向・東白杵広域連合議会	日向市
	14日	世界農業遺産推進協議会	高千穂町
	13日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会理事会	延岡市
	15日	入郷地域期成同盟会要望活動	県出先機関
	15~17日	全国森林環境税創設促進議員連盟役員会・第22回定期総会	新潟県上市
	21日	国道388・446号期成同盟会総会・陳情	熊本県
	23~24日	例月監査	監査委員室
	24日	高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会	宮崎市
宮崎県鉄道整備促進期成同盟会総会		宮崎市	
みすず会		宮崎市	
日向支部消防操法大会		日向市	
東白杵郡町村議会議員研修会		日向市	
耳川広域森林組合併15周年記念祝賀会		日向市	
31日	県町村議会議議会運営委員会正副委員長研修会	宮崎市	

編集後記

8月6日の宮日新聞「くろしお」欄に尾向小学校の焼き畑体験が紹介されていた。「このやばに火を入れ申す。へび、わくど虫けらどもそうそうに立ち退きたまえ」と生き物たちへ退避を呼びかけ火を入れる。1年目にソバ、2年目にアワ、3年目に小豆、大豆などを作付けしその後山に戻すという「輪作と遷地」、自然に対する畏敬、この農法こそが日本に唯一残る伝統的焼き畑農法である。小学校の焼き畑も守り続けている焼き畑も天気に恵まれ終えたようである。次は、「高千穂郷・椎葉山」の世界農業遺産認定である。認定実現を心から願う日々である。



河口吉弘

議会を傍聴しませんか？

9月定例会は、9月9日開会予定となっています。

《お問い合わせは議会事務局》

TEL 67-3209 FAX 67-3500

議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。